

P1 株主のみなさまへ

P4 工事実績のご紹介

P5 財務情報

P7 上半期トピックス

P9 技術のご紹介





代表取締役社長

今井 雅則

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当上半期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の決算概要とともに、経営計画の進捗状況につきましてご報告いたします。

当上半期の概況

当上半期における国内景気は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などもあり、個人消費や生産等に弱い動きが見られました。建設業界においては、官公庁工事を中心に受注が堅調に推移した一方で、資材価格の上昇、労務逼迫等の懸念が払拭されず、不透明な要因を併せ持つ経営環境が続いております。

このような状況の中、当上半期における当社グループの業績は、連結売上高は主に当社における完成工事高が減少したことにより、前年同期比9.8%減の1,878億円となりました。

営業損益につきましては、採算重視の受注方針の徹底等により完成工事総利益率が向上した結果、営業利益は68億円(前年同期比15.5%増)となりました。また、経常損益は、受取利息及び保有する投資有価証券の受取配当金等により、76億円の経常利益(前年同期比14.9%増)となりました。

四半期純損益につきましては、特別利益において、負ののれん発生益4億円及び投資有価証券売却益3億円を計上した結果、79億円の四半期純利益(前年同期比28.4%減)となりました。

経営計画の進捗状況

今般、当期業績予測を見直し、連結売上高は4,130億円、営業利益87億円(営業利益率2.1%)といたしました。中期経営計画では第93期(平成27年度)に「連結売上高4,000億円程度、営業利益率2.0%以上」を目標に掲げており、現時点におきましては概ね順調に推移しているものと認識しております。

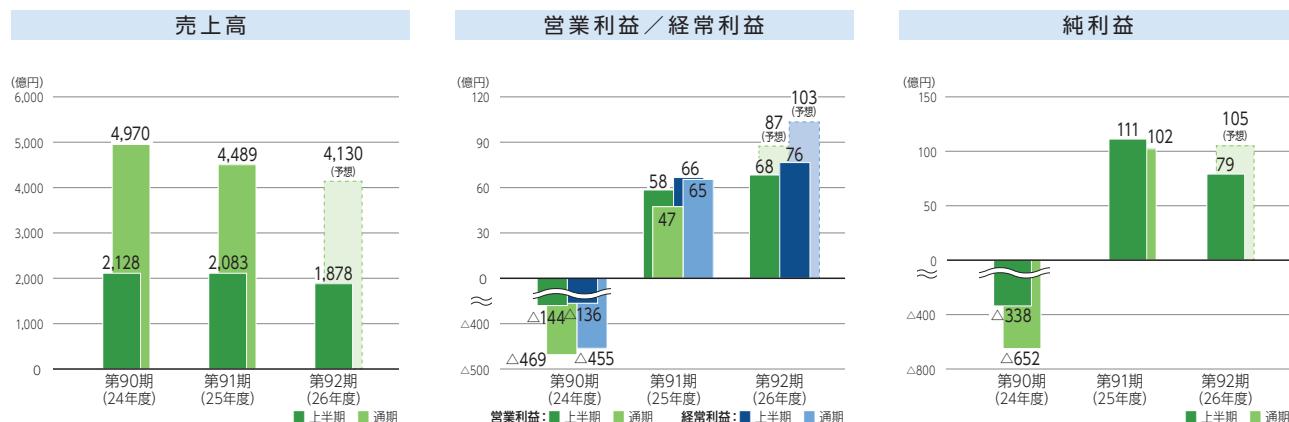
施策面につきましては当期初より「営業戦略の見直し」「業務改革の推進」「戦略分野の強化」に重点的に取り組んでおります。

まず「営業戦略の見直し」に関しましては、各地域の建設

投資動向と当社の強みを再検証し、当上半期においては医療福祉施設、教育文化研究施設、道路といった重点分野に加え、宿泊施設や土地造成などが受注に占める割合が高くなっております。また、土木事業におきましては、東京支店と横浜支店の土木部門を統合し、平成27年4月の予定で首都圏土木支店を設置するべく、検討を重ねております。

次に「業務改革の推進」につきましては、5月に業務改革委員会を設置し、業務プロセスの見直しとICTの再構築に取り組んでおります。本取り組みの目的は、環境の変化に対応し、持続的な成長を果たすサイクルの実現にありま

財務ハイライト(連結)



す。業務改革を完遂し、経営資源のシフトを通じて、収益の安定・拡大を目指してまいります。

そして、「戦略分野の強化」につきましては、海外、投資開発、環境・エネルギー、グループ会社の4分野における収益力の強化に取り組んでおります。特に、海外におきましては、スリランカ民主社会主義共和国で上水道施設工事の受注を見込み、これにより、当期の海外建設受注高は210億円（前期は153億円）を予測しております。

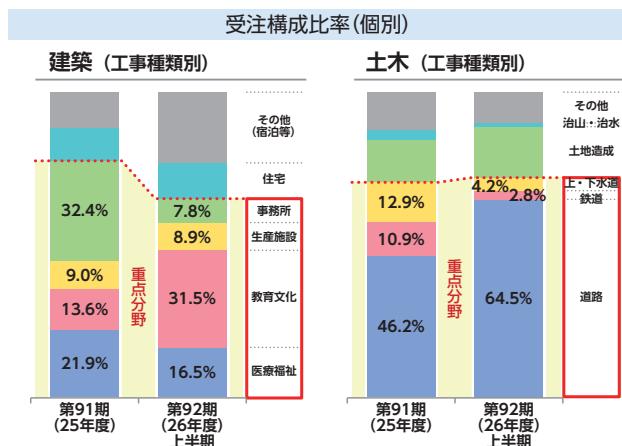
下半期にあたって

上半期の総括として、建築事業は順調な受注状況（目標達成率55%）の中にも、地域によって状況にバラつきが見

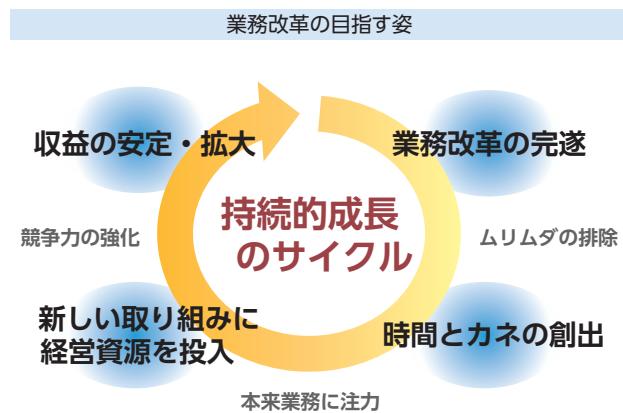
られます。土木事業におきましては、東京外かく環状道路本線トンネル（北行）東北北工事などの大型工事を受注した一方、利益水準（完成工事利益率:当期予測8.5%）の更なる改善に取り組む必要があります。

こうした課題認識のもと、下半期におきましては「対顧客価値による差別化の推進」「施工体制の強化、生産性への取り組み」「次期受注案件のつくり込み」を念頭に、施策を強化してまいります。

引き続き「価値ある戸田建設」の実現に向けて邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



重点分野に加え、宿泊施設、土地造成等が増加



業務改革の成果を次の成長に結び付ける

工事实績のご紹介

当上半期の完成・受注工事

当社では、機能性や品質に優れ、安心・安全で、環境に配慮した建設物を実現することで、建設業としての企業の社会的責任を果たしています。当上半期における主な完成・受注工事をご紹介します。

青山学院高等部校舎建替工事



工事名称 青山学院高等部校舎建替工事
工事場所 東京都
発注者 (学)青山学院
竣工月 平成26年8月
工事概要 床面積 24,479.18m²
Ⅰ期:西校舎
RC造 地上5階 地下1階 塔屋1階
Ⅱ期:北校舎・PS講堂
RC造 地上5階 地下1階 塔屋1階
Ⅲ期:体育館
RC造 地上3階 地下1階

用途 学校

仙台市高速鉄道東西線連坊工区土木工事



工事名称 仙台市高速鉄道東西線連坊工区土木工事
工事場所 宮城県
発注者 仙台市交通局
竣工月 平成26年7月
工事概要 工区延長:1,262m
駅部:柱列式中連続壁削トンネル
(L=164m・箱型鉄筋コンクリート地下2階)
トンネル部:施工延長1,099m×2連
(泥土圧気泡式シールド工法)
セグメント外径5,900mm
(RCセグメント680R、DCセグメント1,690R)

用途 鉄道

■ 当上半期における主な完成工事

- ・日本郵便(株) 大宮桜木町一丁目計画(仮称)新築工事
- ・(学)大妻学院 大妻学院/大妻女子大学(仮称)千代田校舎建替計画
- ・(株)FCHパートナーズ 福岡市新病院整備等事業
- ・(株)秋葉原ラジオ会館 (仮称)秋葉原ラジオ会館新築工事
- ・一番町二丁目四番地区市街地再開発組合
一番町二丁目四番地区第1種市街地再開発事業施設建築物新築工事
- ・熊本県阿蘇市 阿蘇中央病院建設事業病院本体建設工事
- ・中日本高速道路(株)
第二東名高速道路 額田トンネル他1トンネル工事
- ・東京都水道局 朝霞浄水場高度浄水施設(二期)築造工事
- ・西日本高速道路(株) 四国横断自動車道 徳島インターチェンジ工事

■ 当上半期における主な受注工事

- ・(学)北里研究所
(仮称)北里研究所白金キャンパス薬学部校舎・北里本館建替新築工事
- ・糀谷駅前地区市街地再開発組合
糀谷駅前地区第一種市街地再開発事業 施設建築物新築工事
- ・高崎市 新体育館建設工事
- ・社会医療法人社団 健生会 立川相互病院新病院計画
- ・愛知県 愛知総合工科高等学校建設工事
- ・中日本高速道路(株)
東京外かく環状道路 本線トンネル(北行)東名北工事(JM)
- ・東日本高速道路(株) 上信越自動車道 天神堂トンネル工事
- ・西日本高速道路(株) 新名神高速道路路面インターチェンジ中工事
- ・東北地方整備局 国道45号両石地区道路工事

財務情報

第92期上半期決算情報

連結損益計算書のポイント

(単位:億円)

| | 前上半期 | | 当上半期 | |
|---------------------|--------------|------------|--------------|------------|
| | 金額 | 利益率 (%) | 金額 | 利益率 (%) |
| 建設 | 2,004 | | 1,815 | |
| 不動産等 | 79 | | 62 | |
| 売上高計 | 2,083 | | 1,878 | |
| 建設 | 136 | 6.8 | 161 | 8.9 |
| 不動産等 | 19 | 24.5 | 15 | 24.1 |
| 売上総利益計 | 156 | 7.5 | 176 | 9.4 |
| 販売費及び一般管理費 | 97 | | 108 | |
| 営業利益 | 58 | 2.8 | 68 | 3.6 |
| 営業外収支 | 7 | | 8 | |
| 経常利益 | 66 | 3.2 | 76 | 4.1 |
| 特別損益 | 46 | | 8 | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 112 | | 85 | |
| 法人税等 | 1 | | 5 | |
| 四半期純利益 | 111 | 5.3 | 79 | 4.2 |

連結損益計算書

主要な事業である建設事業における完成工事高が、前上半期と比較して9.4%減少した結果、売上高は1,878億円となりましたが、完成工事総利益率が向上したことにより、売上総利益は前上半期と比較して12.7%増加し、176億円となりました。一方で、販売費及び一般管理費が前上半期に比べ増加したものの、営業利益は前上半期と比較して15.5%増加し、68億円となりました。

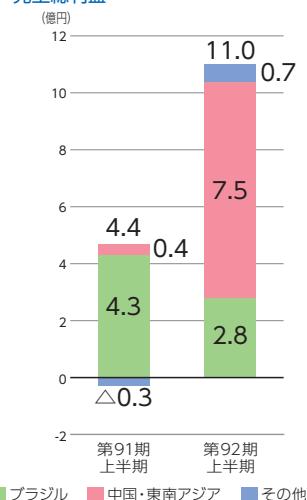
また、受取配当金や投資有価証券の売却益により、当上半期の四半期純利益は79億円となりました。

海外事業の業績

売上高



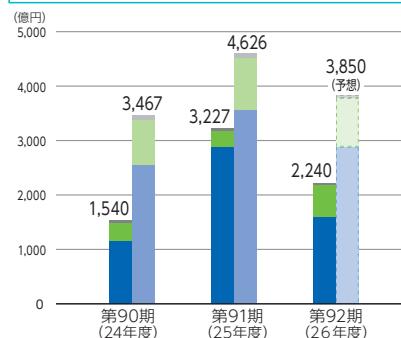
売上総利益



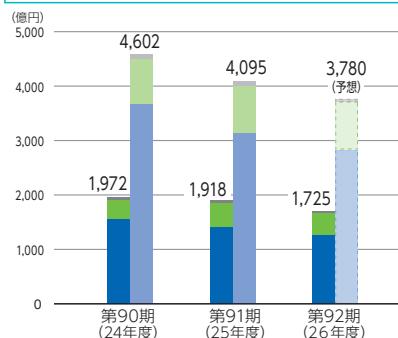
当上半期における海外事業の実績は、ブラジル、中国・東南アジアともに売上高が減少し、売上高合計は、前上半期と比較して17.4%減少し、95億円となりました。

一方で、売上総利益は、中国・東南アジアでの工事採算が改善したことにより、前上半期に比べ148.8%増加し、11億円となりました。

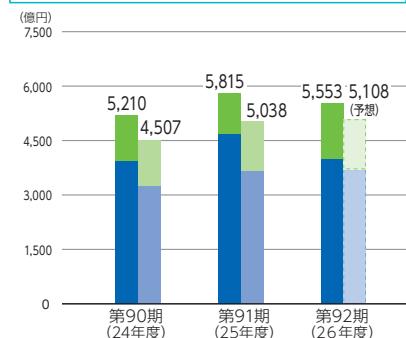
受注高(個別)



売上高(個別)

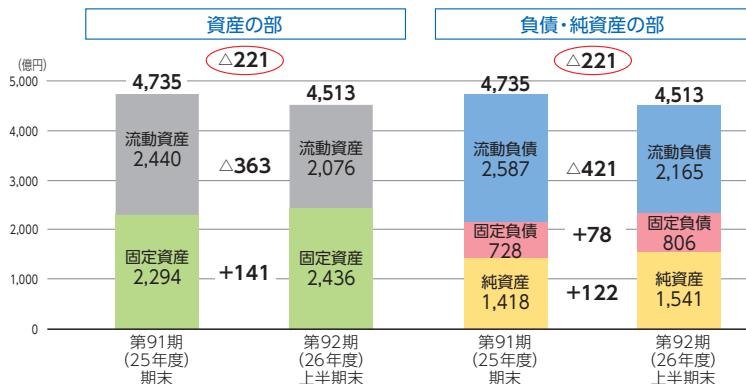


繰越高(個別)



建築事業: ■上半期 ■通期 土木事業: ■上半期 ■通期 不動産事業: ■上半期 ■通期

連結貸借対照表のポイント



連結貸借対照表

●資産の状況

時価の上昇に伴い投資有価証券が125億円増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等の減226億円、有価証券（譲渡性預金）の減少などにより、当上半期における資産総額は、4,513億円（前期末は4,735億円）となりました。

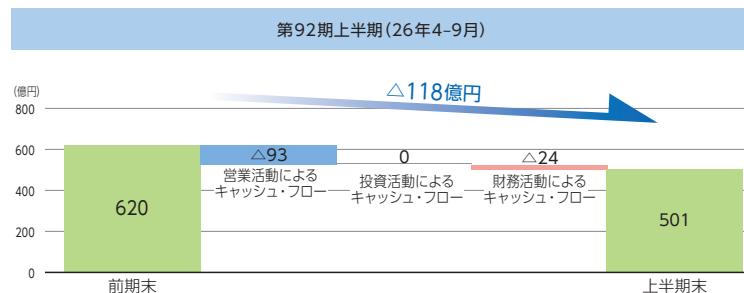
●負債の状況

未成工事受入金が24億円増加しましたが、支払手形・工事未払金が359億円、工事損失引当金が48億円減少したことなどにより、当上半期における負債総額は、2,972億円（前期末は3,316億円）となりました。

●純資産の状況

その他有価証券評価差額金の増92億円や当上半期における四半期純利益などにより、純資産は1,541億円となり、自己資本比率は33.7%（前期末は29.1%）となりました。

連結キャッシュ・フローのポイント



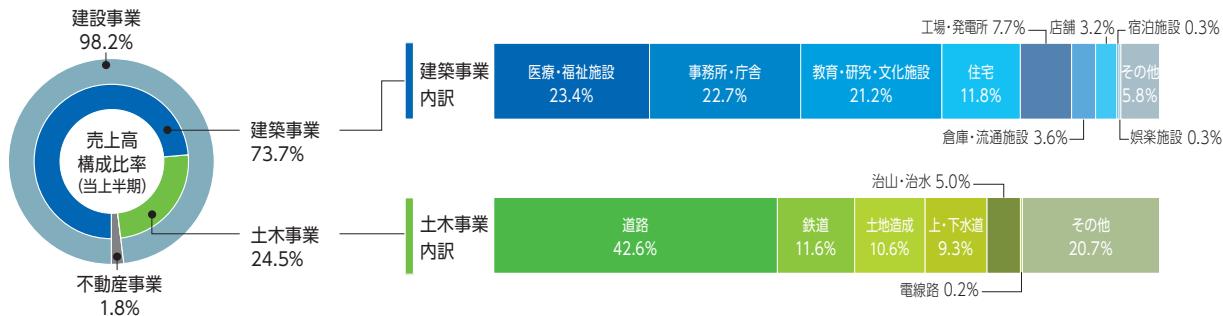
連結キャッシュ・フローの状況

税金等調整前四半期純利益が85億円となりましたが、工事収支が103億円の支出超となったことなどにより、営業活動としては93億円の資金減少となりました。

また、財務活動としては、借入金の増加により27億円の資金が増加したものの、自己株式の取得、配当金の支払などにより52億円の資金が減少したため、24億円の資金減少となりました。

この結果、当上半期における現金及び現金同等物は、前期末と比較して118億円減少の501億円となりました。

事業種別 売上高構成比率(個別)



4月

建物安全性の向上とコスト低減が可能な杭工法「Me-A工法」の開発

当社をはじめとする9社は、建物の安全性向上と施工時のコスト低減が可能な杭工法「Me-A工法」を開発し、一般財団法人ベターリビングより技術評定を取得しました。中間および先端に拡径部を有する場所打ちコンクリート杭工法の評定取得です。従来の拡底杭のように建物の自重を支える支持性能を先端だけで増大させず、先端と中間に分散して増大させることができます。また、この拡径部は地震の時に杭の引抜き抵抗としても有効に働きます。今後開発会社各社は、杭基礎の安全性の向上とコスト低減のため、Me-A工法の適用を進めていく予定です。

用語 ▶ Me-A
Multi Enlarged-NODES Ace pile



5月

「セミアクティブ免震システム」を開発

当社は、小地震から大地震まで地震の規模に応じて揺れを制御する高性能免震装置「セミアクティブ免震システム」を開発しました。減衰係数*を切り換えることが可能なダンパー（以下、可変減衰ダンパー）を用い、建物が受ける力を小さくし、建物の変形も効率的に抑えることを可能とした制御システムです。

センサーで感知した揺れを瞬時に解析し、免震装置が元の位置から離れる際には可変減衰ダンパーの減衰係数を小さくして建物が受ける力を小さくし、逆に元の位置に戻る時に大きな減衰係数として建物の揺れを効率的に抑えることができます。通常の免震装置よりも高性能で、より安全・安心な施設としてご利用いただくことが可能です。

今後は病院や住宅など居住性能が要求される用途の建物を中心に、高性能免震装置として積極的に展開していく予定です。



用語 ▶ 減衰係数
建物の揺れを止めようとする抵抗を数値(単位は、力/速度)で示したもの。一般的に、この値が大きいほど揺れは早く収まるが、その分建物が受ける力は大きくなる。

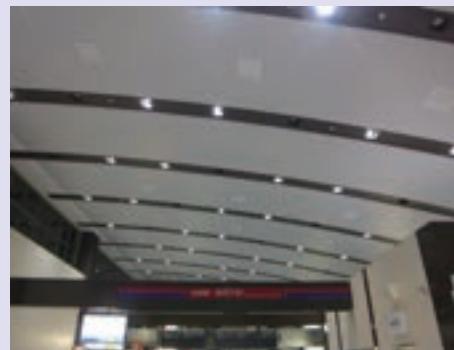
5月

特定天井の落下防止対策工事が竣工 —「既存特定天井」に対する落下防止措置をいち早く実施—

当社は、京王電鉄(株)京王線東府中駅コンコース上部天井で既存特定天井*に対する落下防止措置工事を設計施工で実施しました。

駅コンコースという性格上、建物を使用しながらの工事条件を満足し、落下に対する安全性能確保と良好な施工性を兼ね備えた工法として、ワイヤーによる落下防止措置を採用しました。

今回当社ではいち早く実施したことで告示施行前に落下防止措置を竣工することができました。脱落対策が義務付けられた特定天井はまだ多くあり、当社は今後も改修工事を通じても安全・安心な施設の提供に貢献できるよう対応していきたいと考えています。



用語 ▶ 特定天井
高さ6m超、面積200m²超、重量2kg超の吊り天井。平成26年4月より告示(特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件)が施行され、新築の特定天井についての技術基準が定められている。また、建築基準法施行令第137条の2では、既存建物における特定天井に対して一定規模以上の増築や改築時には、新築時と同等の技術基準に適合させるか又は別途の落下防止措置を講じることとなっている。



5月

吹付けコンクリートの低リバウンド化を実現

当社は、山岳トンネルNATM工法における吹付けコンクリートの吹付作業時に発生するコンクリートのはね返り(リバウンド)量を低減することが可能な、増粘剤含有高性能減水剤を用いたコンクリート配合を吹付けコンクリートに適用する工法を開発し、北海道(小樽市)にて当社施工中のトンネル工事で実証試験を行い、効果を確認しました。実証試験により、本工法を用いた吹付けコンクリートと、従来の配合(国土交通省土木工事標準積算基準書に準拠した配合)での吹付けコンクリートを比較した結果、リバウンド率を20%以上低減できることが確認できました。

今後も各トンネル工事に本工法の適用を進め、本工法の有効性を確認するとともに、副次的効果として期待できる粉じん発生量の低減や、コンクリートの長期強度の増加についても検証を進めていく予定です。

地震発生



6月

「ビルメディカルシステム」インターホンタイプを開発

—建物モニタリング診断情報をマンション各住居に発信—

当社は、地震による建物の健全性を即時に判定、簡易診断することができる「ビルメディカルシステム」(富士電機(株)との共同開発)において、超高層マンション用に各住居のインターホンに情報を表示させるタイプを開発しました。

マンション居住者は地震発生時にインターホンのモニターを通じて自分のフロアの揺れ・建物健全性に関する情報を知ることができるので、落ち着いて対応することが可能になります。

7月

作業服をリニューアル

—「価値ある戸田建設」を表現する新デザインを採用—

当社は、本年度より、全国の作業所職員が着用する作業服を一新いたしました。

今回採用する作業服は、「新たな価値創造を目指す」という当社の経営理念を踏まえ、建設業界としてはめずらしい、立襟タイプのスタイリッシュデザインを冬服に採用いたします。また、当社の社風である誠実さ・堅実さを作り上げてきた従来のベージュ色を基本としながらも、新たな戸田建設へ向けての元気や活力を示すオレンジ色をアクセントとしたデザインとしています。夏服についても、従来より機能性・安全性を高めた作業服にリニューアルいたしました。

アウターパンツについては、Apple社のiPad miniが作業所での品質検査等に活用されている状況を踏まえ、サイドポケットにiPad miniが収納できるカーゴパンツ型を採用しています。

夏服は7月22日(火)より着用開始、冬服は平成27年1月より着用開始予定です。なお、防寒着についても平成25年10月より、既にデザインを一新しております。



建設工事現場の周辺環境にやさしい戸田建設の技術

当社は建設工事現場の周辺環境に配慮した、様々な技術開発を行っています。
当社と関西大学が共同で生み出した騒音低減技術の一部をご紹介します。



エッジサイレンサー®

エッジ効果を抑制した高性能防音壁

建設工事現場や工場、屋外の設備機器置場等に利用されている防音壁には、高い防音性能が求められます。また一方で、景観、日照、安全性や設置コストの観点からは高さを抑えることが望まれています。

当社は関西大学との共同研究により、防音壁先端に集中する騒音のエネルギーを吸収するパネル「エッジサイレンサー」を開発し、従来よりも低くて高性能の防音壁を実現しました。

今後は建設工事現場で発生する騒音の低減に加え、屋外に設置される設備機械等から発生する騒音の低減対策にも利用し、周辺環境にやさしい技術として積極的に展開する予定です。

技術の主な特徴

- 1 最新の理論を実用化した「エッジサイレンサー」を従来の防音壁の先端に取り付けることで、高さを抑えながら騒音低減効果の向上を実現
- 2 高さを抑えることができるため、防音壁が周囲に与える圧迫感を低減
- 3 「エッジサイレンサー」は薄くて軽いため、既存の防音壁にも設置することが可能



エッジサイレンサー設置状況



建設工事現場への適用例



屋外設備機器置場への適用例

■ 会社概要

(平成26年9月30日現在)

● 主な事業所等

本店(東京都中央区京橋一丁目7番1号)

支店

- ・東京支店(東京都中央区)・千葉支店(千葉市)
- ・関東支店(さいたま市)・横浜支店(横浜市)・大阪支店(大阪市)
- ・名古屋支店(名古屋市)・札幌支店(札幌市)・東北支店(仙台市)
- ・広島支店(広島市)・四国支店(高松市)・九州支店(福岡市)

技術研究所(つくば市)

子会社

- ・戸田ビルパートナーズ(東京)
- ・アペックエンジニアリング(埼玉)
- ・千代田建工(東京)
- ・戸田道路(東京)
- ・戸田ファイナンス(東京)
- ・東和観光開発(広島)
- ・千代田スタッフサービス(東京)
- ・戸田アメリカ
- ・戸田ブラジル
- ・戸田上海
- ・タイ戸田
- ・戸田ベトナム
- ・戸田フィリピン
- ・ABTD(フィリピン)

● 従業員の状況

従業員数 4,893名(連結) 3,916名(個別)

● 取締役および監査役

| | | | |
|---------|------|-------|-------|
| 代表取締役社長 | 今井雅則 | 常勤監査役 | 野々口悦生 |
| 代表取締役 | 鞠谷祐士 | 常勤監査役 | 西牧武志 |
| 代表取締役 | 宮崎泰 | 監査役 | 鍛冶良明 |
| 代表取締役 | 秋場俊一 | 監査役 | 鈴木勝幸 |
| 取締役 | 戸田守道 | 監査役 | 秋草史幸 |
| 取締役 | 早川誠 | | |
| 取締役 | 西澤豊 | | |
| 取締役 | 大友敏弘 | | |
| 取締役 | 植草弘 | | |
| 取締役 | 下村節宏 | | |
| 取締役 | 網谷駿介 | | |

- (注) 1: 取締役下村節宏氏および網谷駿介氏は、社外取締役であります。
 2: 監査役鍛冶良明氏、鈴木勝幸氏および秋草史幸氏は、社外監査役であります。
 3: 取締役下村節宏氏、網谷駿介氏および監査役鍛冶良明氏は東京証券取引所が指定義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

■ 株式の状況

(平成26年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 759,000,000株
- 発行済株式の総数 322,656,796株
- 株主数 11,864名
- 大株主

| 株主名 | 持株数(千株) |
|---|---------|
| 大一殖産株式会社 | 38,315 |
| NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY | 15,476 |
| 戸田秀茂 | 14,632 |
| 株式会社三菱東京U F J 銀行 | 11,496 |
| ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユーエスタックスエグゼクティブペーパーファンズ | 8,951 |
| ピーピーエイチボストンカストディアンフォーブラックロックグローバルアロケーションファンドインク620313 | 8,302 |
| 株式会社みずほ銀行 | 7,107 |
| 三宅良彦 | 7,027 |
| 戸田博子 | 6,611 |
| ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)アカウントノントリーディー | 6,591 |

(注) 上記のほか当社所有の自己株式15,508千株があります。

■ 株主メモ

| | |
|-------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料) |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711(通話料無料) |
| 上場金融商品取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告の方法 | 電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.toda.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。 |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

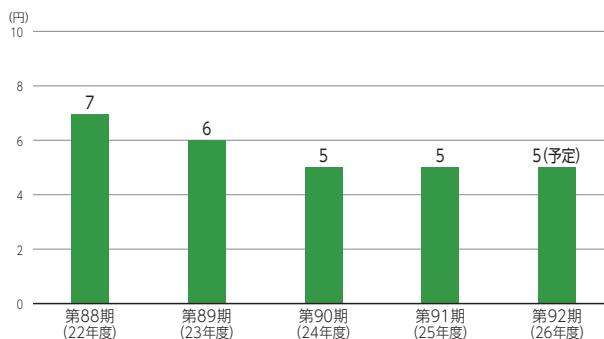
株主還元について

利益分配に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様への継続的な安定配当の実施と、競争力および財務体質の強化に不可欠な内部留保の確保を勘案の上、業績および経営環境に応じた利益配分を行うことを基本方針としております。

当期の1株当たりの年間配当金につきましては、上記の方針を踏まえて、5円とすることを予定しております。

1株当たり配当金推移



株主優待制度のご案内

当社では毎年9月末時点の株主名簿に記載または記録された1単元(1,000株)以上保有の株主様を対象に、株主優待を実施しています。



■ 優待内容

当社グループが保有・運営する「ホテル&リゾート サンシャイン サザンセット」(山口県大島郡周防大島町)の株主優待券を贈呈いたします。

割引率

| | |
|------------------|----------------|
| 平日(日曜日~木曜日) | 正規の宿泊料金より30%割引 |
| 休前日(金曜日・土曜日・祝前日) | 正規の宿泊料金より20%割引 |

発行基準

| | |
|-----------------------|----|
| 所有株式数1,000株以上5,000株未満 | 2枚 |
| 所有株式数5,000株以上 | 4枚 |



■ ご利用方法

- ご予約の際に優待券面に記載された番号をご連絡ください。
- 株主優待券1枚につき1回あたり1室のご利用ができます。
- 本制度の対象となる客室は1日あたり5室までといたします。

戸田建設株式会社

〒104-8388 東京都中央区京橋一丁目7番1号
TEL.(03) 3535-1357
<http://www.toda.co.jp/>

戸田建設

検索



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。